令和８年

第８回新温泉町教育委員会会議議事録

（令和８年８月２６日開催）

新温泉町教育委員会

令和８年第８回新温泉町教育委員会議事録

１　日　時　令和８年８月２６日（水）午後２時５７分～午後４時１９分

２　場　所　新温泉町文化財センター・味原川文化伝承館　２階　研修室１

３　出席者　森田教育長

（委　員）田中教育長職務代理者、村尾教育委員、岡田教育委員、上野教育委員

（事務局）朝野こども教育課長、樹岡こども教育課参事、中尾生涯教育課長

中家こども教育課副課長

４　会議録署名委員　田中教育長職務代理者、岡田教育委員

５　傍聴者　０人

６　議　事

日程第１　会期の決定

日程第２　会議録署名委員の指名

日程第３　前回会議録の承認　（村尾委員）

日程第４　教育長報告及び所管事務報告

日程第５　新温泉町いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について

日程第６　その他　　次回新温泉町教育委員会日程について

******** 開会　午後２時５７分 ********

○森田教育長　ただいまより第８回新温泉町教育委員会を始めさせていただきます。

昨日は、但馬教育塔の合祀祭ということで、本町が事務局を持っておりまして、田中職務代理者、それから、事務局には大変お世話になりまして、滞りなく終えることができました。本当にありがとうございました。

それから、先週の８月２０日、２１日は、神戸市で教育委員会連合会の全県研修会が行われまして、これも田中職務代理と中家副課長と私と３人で出席をさせていただいております。研修の内容についてなんですけども、３つ柱がありまして、１つは部活動の地域展開の現状と課題、それから、２つ目が、幼保小架け橋教育の推進に向けて、それから、３つ目が不登校児童生徒への理解と支援の在り方についてという、３つの研修でした。その中で、特に幼保小の連携につきましては、今年度、兵庫県の県教育委員会に、ひょうごっ子幼保小の架け橋教育支援センターというものが発足して

おりまして、幼児教育の質の向上に向けて、幼児教育のアドバイザー等の派遣事業も開始されております。

いろいろと今年は但馬の代表をしているおかげで、いろいろな会議、それから、いろんな会合に出させていただくんですけども、出て感じるのは、自治体によって、それぞれ同じ課題でも、捉え方、対処の仕方が全然違うなということをひしひしと感じております。特に部活動の地域展開におきましては、この間も姫カツ、コベカツの紹介をされるんですけども、子供がいないという現状の中でどうしていくかと。子供たちにどのようにそういう機会を保障していくかっていうような、また別の課題があるというふうなことを感じて参加しておりました。そうした中で講師の方も、独自でいかないとほかのところが参考にならないし、ほかのところのまねもできないしということで、それぞれ各自治体での教育委員会等のアイデア、それから、行動が重要になってくるということを改めて感じました。また、今日も協議内容がありますけども、教育委員の皆さんのお知恵を借りながら、本町独自でできるところはそれで進めていけたらと思いますので、どうぞ御教示のほどをよろしくお願いしたいと思います。

それでは、日程に沿って進めさせていただきます。

日程第１、会期の決定についてです。本日、８月２６日１７時までの１日間ということでご異議ございませんか。（「はい」の返事有り）

日程第２、会議録署名委員の指名ということで、田中教育長職務代理者、岡田委員にお願いいたします。

日程第３、前回の会議録の承認を村尾委員からお願いいたします。

○村尾委員　会議録を確認させていただきました。内容的には整理されていたと思いますので、報告いたします。

○森田教育長　ありがとうございました。

それでは、日程第４、教育長報告及び所管事務報告に入らせていただきます。

（別紙　教育長報告、各学校園の状況報告について（８月分）、議事日程資料１ページを説明）

８月は「差別をなくし人権文化をすすめる町民運動」推進強調月間ということで、１日には夢ホールで人権を考えるつどい、そして、３日の月曜日には、たそがれコンサートということで、オープニングが行われました。こちらに参加させていただきました。８月５日の地区教育長会議は、朝来市で県教育委員会の幹部、但馬５つの教育

長、それから、但馬教育事務所の幹部等も集まりまして、議題は部活動の地域展開について意見交換を行いました。８月６日から７日につきましては、道盛邸の基本計画を行う業者が関わった、徳島県の三好市の真鍋屋という建物と、美馬市の未来館という建物の視察に行かせていただきました。古い建物をリニューアルするんですけど、その方法に特徴がありまして、割と古いものは閉鎖的に整えがちなんですけども、区民、町民に開かれていく、そこが活用できるような建物ということで、新しいところもありまして、生涯教育課の職員と一緒に視察に行かせていただきました。

それから、８月１７日には、但馬教育未来会議ということで、これは豊岡市の芸観大が行っているものです。但馬の５教育長と、但馬教育事務所の所長とで意見交換をしました。この中身の主なものは、教職員の資質向上ということで話題になっておりまして、平田オリザ学長も今回は出席しておりましたので、そういう演劇的手法を使ったワークショップの話が結構出ておりました。

それから、今度は８月１９日に公民館のあり方検討委員会ということで、鳥取県の琴浦町と大山町の役場に行きまして、話を伺うことができました。これには１０名のあり方検討委員の方々と、それから、事務局とで参加させていただいております。琴浦町は公民館を残す形で、大山町は地域自主組織、地域コミュニティという形で公民館の活動を継続している。それぞれがまだ途上にありまして、これからブラッシュアップしていくような形で動いておられるようですが、共通しているのは、今までは公民館からいろんなサービスを住民が与えられるというような発想でしたけども、そうではなくて、住民が立ち上がって、住民が自主的に行っていく。つまり、住民と行政とが共につくり上げていくという「共創」という言葉を使っておられましたけども、まちづくりが地域との共創で行うという、そういう発想に変わってきているという話が心に残っております。

それと、８月２５日、但馬の教育塔の合祀祭、今年は合祀される方がおられませんでしたので、献花だけという形でしたけども、短い短時間で終えたんですけど、感想は暑かったという一言に尽きるような、そういう合祀祭でした。

今後の予定ですけども、今後につきましては、８月２７日に第７回の道盛邸千原屋の整備検討委員会が行われます。それから、２８日には、こども性暴力防止法施行に係る研修ということで、これはこども家庭庁から、子供に関わる、教職員等の研修が義務化されていまして、それについて実施いたします。

それから、９月１日には、兵庫県の教育委員会、連合会の要望会です。要望する今年の内容は、１つは部活動地域展開に係る人的、財政的支援を求めること、２つ目は、スクール・サポート・スタッフの補助採択枠の拡大と増員を要望すること、３つ目は、子ども多文化共生サポーターの配置を拡充すること、４つ目は、スクールバスへの財政支援、補助金制度の拡充について、国へ働きかけるよう４つの形で、県教育委員会に要望を上げる予定でおります。それから９月１２日に運動会があります。教育委員には、大変暑い中ですけどもお世話になります。９月２５日には中学校の海外研修の帰国報告会が多目的ホールで行われます。また、９月２７日は、こどもすもう教室ということで、案内を受けています。それから、９月下旬から１０月にかけて旧小学校区を回ってのまちづくり懇談会に出席する予定にしております。

それでは、学校園の状況報告です。校園長会で報告があった内容を説明させてもらいます。温泉小です。七夕集会、天狗まつりと書いてありますけども、七夕集会で短冊を書き、天狗まつりの中で短冊を披露してきたということがあるようです。それから、幼小連携を非常にどの学校も頑張ってくれています。温泉小につきましては、夏休みにこども園の指導法を学ぶということで授業参観を行っております。それから、防災では、この春、実際に消防設備を使っての訓練等を行っております。

照来小学校は校内研修で、特別支援教育の校内研修を行っています。それから、あと、転入生が１名入ってくるということを聞いております。

東小学校です。東小学校は、８月の原爆の日に登校日に充てまして、広島の平和記念式典をライブビューイングで見た後、平和学習を行っています。８月６日は非常に暑いので、マチコミで保護者に送迎を依頼したという形で、暑さ対策を取っていただいております。それから、あと、地域で行われる行事ということで聞いておりますのは、三尾地区で青推協に中心となってもらった魚釣りだとか、それから、久斗山公民館がお化け屋敷をして、子供たちが参加していますということでありました。

浜坂西小学校です。浜坂西小学校の校内研修の中で、不審者対応訓練、それから、県警へのホットラインを使っての訓練等を行いましたということです。

浜坂南小学校です。浜坂南小学校は、１０月２３日の研究発表会に向けまして、研修を続けています。この後ですけど、９月８日に漁協の協力を得まして、漁協との連携で、５、６年生がお魚料理教室を開くということです。それから、１名不足しておりました特別支援の教育指導員が、９月から採用が決まりました。

浜坂北小学校です。浜坂北小学校では、幼小中、高が加わりまして、幼小中高連携と。実際に夏休み行ったものにつきましては、たそがれコンサートに出る中の踊り隊の練習を中学生、卒業生が来て指導してくれるだとか、それから、学習支援をしてくれたというふうに聞いております。それから、こども園から授業に参加しましたというようなことを聞いております。

夢が丘中学校です。小・中学校のグラウンドの草が非常に気になるというようなことで、重機を入れて表面を削って、草を取って、砂入れをしてしばらくはもつだろうということで、全小・中学校を行いました。それから、ＬＥＤ化の工事が完了しております。８割方完了しています。非常に明るくなったということを聞いております。

浜坂中学校です。浜坂中学校では、今年、食育の研究会を行います。熊本で地震があったんですけども、地震の前ですけども、熊本県の中学校も同じ指定を受けているようで、視察に行かせてほしいということで、浜坂中学校に熊本県が視察に来て情報交換をしたということを聞いております。

それから、ゆめっこ認定こども園です。兄弟関係で、上の子が夏休みになったから下の子が欠席というパターンがちょこちょこあるようです。あとは、浜坂高校の就業体験、それから、夢が丘中学校サマーボランティア等を受け入れておりますということ。それから、温小とゆめっことで連携して連絡会、それから、授業参観等を行いますということ。照小とも行っておりますというようなことです。

浜坂認定こども園です。同様に就業体験やサマーボランティアの受付をしております。それから、お盆の期間でしたけども、希望保育で大体１０人から２０人だったというようなことを聞いております。ちょっと病気関係ですけど、７月下旬頃から夏風邪、手足口病、ヘルパンギーナ等が流行し、欠席の園児がいるということです。

明星認定こども園です。幼小連携のほうで、ここに通っております北小校区の園児、それから、東小校区の園児、西小校区の園児がありますので、その３校との連携のほうをしております。夜のお楽しみ会、ほかの学校は夕涼み会をするんですけども、お楽しみ会ということで、カレー、サラダ作りを行っています。それから、防犯教室ということで、警察と連携して行っています。それから、地蔵盆を毎年、この時期に行っています。今年は諸寄の若い人たちのグループ、ダラーズという名前だそうですけども、その方たちが来られて、子供たちにそういうイベントを組んでくれたということのようです。

浜坂高校です。浜坂高校は１日早く、８月３１日から２学期が始まります。夏季休業中は、３年生は進路に関わる補習だとか指導、１年生は９月から始まります文化祭の準備という形で登校しています。

各学校園の報告については以上です。

両方合わせまして、何か質問はありますでしょうか。

○村尾委員　８月こそ先生方の自主研修なんかもあると思うんですけど、そういったようなところは熱心にされてるのかどうか、そこら辺の動向とか、勉強したいんですって言ったらお休みをちゃんとあげて、そういうようなことっていうのは、活発にされてるのかどうかっていうのがちょっと私は気になってるんですけど、どうなんでしょうか。

○樹岡こども教育課参事　まず、８月を含めて夏休みの教職員の把握なんですけども、予定表でも確認できる学校はあるんですが、全ての学校に動静表を出してもらっていますので、教職員の動きについては把握をしております。

また、夏休みに関しては、非常に研修は多くて、一部の教員だけに負担が強いられることがないように分担をしてもらっています。夏休みの後半に入ってからも、昨日もおとといも研修会があったんですが、例えば、現在、障害者雇用の関係で、特別支援学校のお子さんが学校現場に入れるような準備をしているんですけど、障害がある方を受け入れるだけではなくて、研修も必要だということで、昨日も研修を受けてもらっています。結構忙しい夏休みになっております。

○村尾委員　先生方は、８月ずっと全部休みっていうわけじゃないので、勤務をされてると思うんですけど、意外と勉強の機会がふだんはなかなか取れないので、そういうときにちょっとこういった研究とか、自分のしたい勉強をやりたいですとかっていう部分も、通るものなのかなって思ったりします。

○樹岡こども教育課参事　実際は、かなり指定する研修が多くて、なかなか自らそれにプラスアルファして研修に行きたいというのは最近はあまり聞かないです。

○森田教育長　去年まで研修担当の主事をしていましたが、この時期は。本当に日にちが取れないぐらい研修が入っています。ここで、うちの教育委員会がやる課題別研修の日にちが取れないというぐらい、もうあちこちに出かけていかなくちゃならない。昨日もですよね、文教府に行ったんですけども、私たちが合祀祭をしている横で、但馬教育事務所の不登校の研修会をやっておられるというような状況でありましたし、

先生たちも本当に一生懸命勉強をしていただいております。

逆に、夏休みだからといって、休みをあげなきゃいけないなと思いつつ、ほぼ取れない状況で、お盆の時期の閉庁日が、ほっとできるかなという出勤状況です。

○村尾委員　忙しいのはよく分かる。よく分かりつつも、例えば３日間の研修に行ってきますとかっていうのも、ずっと前から計画を立てていて、そういうのが、資格取ったら、更新のために研修に行かないと更新できないとかいうシステムが結構あって、だから、この日は休みたいですっていうのはもう早くから出してね、大体どこの職場でもあると思います。

○森田教育長　２学期に入ると、どこの学校も授業研究の研究会がよく開かれるんです。そうなってくると、自分が行きたい教科の研修に行かれる先生が２学期は多くて、夏休みは、そういった研修に参加するので精一杯という状況ですね。

○村尾委員　やりたいことを伸ばせることじゃないと、やっぱり、押されて押されてばっかりだったら、先生も今は結構しんどいっていうことになるかもしれませんので、またそういう研修の機会があればいいと思います。

○上野委員　３点ほどちょっとあります。東小のとこなんですけれども、先ほど教育長のほうから御報告がありました、地域で行われる云々という、一番下の行。これ、２つ私もちょっと参加して行ってきました。青推協のほう、両方ともですけれども、青推協、三尾の方々が中心となって、東小限定の子供たちで希望者を募って海上で釣りをする。その後は、今度は夕方から三尾の夏祭りにみんなで参加して交流を深めるという会で非常によかったと思っています。

もう１点、久斗山のほうも、私、お化け役で出てきたんですけども、青推協の関連でやってくださいました。子供たちもめちゃくちゃいっぱい来て、公民館の館長も来てくださって、子供たちすごく喜んで帰っていきました。お化け大会だったので、その辺り、ちょっとお盆っていうのはこういうことっていうのを、一応、子供なりに御先祖さんを大切にしてくださいねというような話をして、一応締めくくらせていただいて、非常に地域の皆さんから御協力を得てよかったなと思っております。

２点目なんですけれども、登校日ってあるじゃないですか。これ、東小だけですか。

○樹岡こども教育課参事　そうです。

○上野委員　平和学習ということをさせるために登校してるのか、いつも気になるのが、この前の評価の方法もそうなんですけど、同じ町立の小学校で、東小は登校日が

あってほかの学校はないっていうところの線引きっていうのはどうされてるのかなと思って。
○樹岡こども教育課参事　まず、登校日なんですけども、大前提としては、子供たちが登校しなければならない日は以前から決められてはなくて、学校の判断でこの登校日っていうのは決められていました。目的はいろいろあるんですけど、やはりこの長期間の夏休みの間に子供たちの様子を見たいとか、ある程度真ん中のところで生活のリズムは崩れてないかとか、宿題をきちんとできてるかっていう様子の確認っていう意味はあったと思います。ただ、近年、猛暑であったりとか、いろんな原因がある中で、オンラインで登校日を済ませたりとか、そもそも登校日をなくすっていう学校も増えてきています。
○上野委員　何か先ほどの村尾委員のお話と合わせるのであれば、先生たちは、ただでさえ時間がないのに、例えば前半で宿題を全部持って帰ってきて、全部ある程度やったら、８月６日に渡したら、９月の始業式の前までの間に、大体子供たちの学習状況とか、丸つけとか、そういったようなのが終わって、２学期からの先生としてのいろいろな研修会とか授業とかの時間、そっちに時間が割けるのかなという気がしました。２学期に丸つけとか子供たちの状況を把握するんではなくて、もう夏休みの間に把握しといて、２学期からは通常の教員としての仕事に戻れるようにするためにそういうやり方をやってたはずだけどっていう方もおられたりして、そこがちょっと知りたかったというところです。
○樹岡こども教育課参事　やっぱり一般論としては、夏休みの宿題を増やす方向ではなくて、全国的には減らす方向にあります。というのが、やはり夏休みの後半に学校に行きたくないという子供たちが増えてきてて、もう少し言いますと、２学期の始まった直後の子供たちの自殺率っていうのが高い傾向にあるので、そういう負担を軽減するっていう大まかな方向はありますので、そういうことを踏まえて学校現場にはちょっと伝えていきたいと思います。
○村尾委員　いろんな体験を少しでもさせようと思って親は必死ですよね。やっぱり、前は絵日記があったんですけど、そういうようなことで、これが夏休みできてよかったっていうようなことをさせようと思ってみんな必死だと思うんですけど。
○上野委員　あと２点だけ。東小におられた外国語指導の方が、もう帰国されたと思うんですけど、その後の新しい方っていうのも決まっているんでしょうか。

あと、対田なんですけれども、田んぼの道をちょっと改修するというあれがあって、通学路が変わります。旧対田前の国道沿いを朝ずっと通うことになるんですけれども、もし冬場に入って雪がすごくなったときには、ちょっとまだ早いんですけれども、歩道の除雪はもう朝一番でやってもらうようにお願いしたいと思います。

○田中教育長職務代理者　あの国道のところですか。

○上野委員　そうです。いつも通ってる通学路が、農道が通れなくなってしまうので、国道まで出て、国道沿いのところの歩道を歩いていくんですけれども、そこが通学路じゃないとき、例年では歩道のところは、除雪してないことが多いのと、かいてももう通学時間が終わったり、帰宅時間にかぶって、何か、何ていったらいいんですかね、通学時間がもう終わったぐらいからかき始めるということになりますので、ちょっと今年の冬は、もし工事がそこまで続いているようであれば、多分校長先生にもお願いはしますけれども、ちょっと御対応いただけたらありがたいです。

○朝野こども教育課長　まず、外国語のＡＬＴの関係なんですけども、浜坂東小学校と浜坂中学校のＡＬＴの先生が帰国されましたので、８月３日付で新しい先生が着任しています。浜坂東小は女性の先生です。ニュージーランドから来られています。浜中もニュージーランドです。男性の先生です。というような状況です。

除雪の件なんですけども、今日も浜坂東小学校から、除雪ではないんですけども、新しい通学路の除草をしてほしいということで来てまして、歩けない状況ではないんですけども、草が途中途中、亀裂の部分から草が生えていたり、あと、のり面側のほうからちょっと、葛というか、つるみたいなものがちょっと伸びてきてるというような状況でしたので、ちょっと目立つとこは早めに除草してほしいということで、建設課に頼んでます。建設課も８月中に一度除草してくれているようなんです。それから伸びとるのかなというところがありますので、現場を確認するということで言ってくれてましたので、対応してくれるかなと思ってます。

除雪の件なんですけども、確かに通学路、今までですと、従来の通学路を除雪してもらうと歩けるスペースができてよかったかなと思うんですけど、今回は車道と歩道が分かれてますので、建設課に確認しまして、車道が優先で先に開くということなんですけれども、通学路になってるということでどうにか早くしてほしいということは、ちょっと建設課には伝えたいと思うんですけども、うちのほうからは要望を強くしていきたいというような段階で、今後、除雪業者が決まっていくと思いますので、その

中で何らかの調整ができないかっていうのは建設課には依頼していきたいというふうに思っております。
○上野委員　何かいつもそこが気になるんですよね。要は、対田と久谷は徒歩通学になっていて、通学路の安全が保障された上での通学路だと思っているんですけど、学校側、町としてはバスは出せないので歩いて通わせてくださいっていう話になって、じゃあ、歩いて通うのに除雪してくださいって言ったらなかなかうまくいかないじゃないですか。そこは、何かあったときにはどうするのかな。挙げ句の果てには、今回の登校日もそうですけど、親に送り迎えしてくださいっていうのも何かちょっと違うんだろうなというふうに思います。
○朝野こども教育課長　去年、南小でも、除雪車両のちょっと大きさが変わった関係があって、従来の夏場の通学道路が冬場に通学できないという、除雪ができない関係もあって、通学路の変更をしないといけないというような状況がありました。そのときは建設課が調整してくれまして、冬場は、少し途中から曲がって、戸田や二日市、福富の子供たちが通う通学路なんですけども、今ですと、田んぼの途中、対田の道を通って行けるようになってるんですけども、そこがちょっと一部除雪できない関係もあって、堤防に出ていただいて通学していただくような形に冬場はしていただくことに、多分、恐らく今年度もしないといけないんですけども、そのときには優先的にそこは、堤防を開けるまでにちょっと除雪をしてもらうようなことの対応をしてもらってますので、今回のケースも建設課に依頼して、車道優先という考え方が建設課にはあるようなんですけど、歩道の除雪も早くしていただけるようなことも要望していきたいと思っております。
○村尾委員　すみません、すごい雪深いところも結構あったりするのでね、まだ浜坂のほうは雪が少なくていいんですけど、竹田なんかでも、本当にあそこの車道っていうか、歩道を開けるのは大分後ですね。ちっちゃい車で開けてあげるんですけど、だけど本当に、確かに子供たちの足で踏み固めながら登校するっていうのならいいんですけど、そういうのも、冬場に向かうまでに子供たちが通る通学路は、せめて子供たちの安全が確保できるような方向で、例えば車道を開けるにしても、少し広めに開けていただくとかいう形で、本当に狭く開けちゃうと、車が通るときに子供はちっちゃくなって、深いところにまた足を踏み込んで、通学してるような現状もうちらのところはありますのでね。だから、どこが徒歩で通っている通学路でっていうようなとこ

をきちっと把握をしていただいて、建設課とも、それから、地区からの要望もあるんであれば、例えば区長さん方からもどんどんそういうのを出していただいて、いろんなところから地区の現状を知っていただいて、安全確保っていうことを、個々にするんではなくって、各学校の現状を把握してもらって、早めにそういう対処を考えていただくということをぜひお願いしたいなと思います。

うちらのとこも、本当に、除雪に来るのがもうとにかく遅い。もう子供らが行った後に除雪が来るんです。ですから、家族が学校などへ送っている現状がありますのでね。日頃そういうところをきちっと把握していただいて、例えば要望出てますって、ほかのところも要望を出して、早めにそういうようなことがあれば、せめて通学路は早めに除雪ができたらなというふうには思っています。

○田中教育長職務代理者　校区ごとに除雪業者の指定とか、ここはこの工務店、ここはこの工務店っていう、ありますよね。

○森田教育長　あります。

○村尾委員　下からずっと来ると遅いので、とてもじゃないけど、子供たちの登校に間に合わないというような時間帯っていうのが今年の冬場はありました。

所管事務報告を進めてまいります。

こども教育課からお願いをします。

○朝野こども教育課長　（議事日程資料２ページを説明）

○樹岡こども教育課参事（教育委員会の点検・評価（こども教育課分）説明）

○中尾生涯教育課長　（教育委員会の点検・評価（生涯教育課分）を説明）

○森田教育長　こども教育課の所管事務報告について説明が終わりました。ご質問等ございましたらお願いいたします。

○村尾委員　中学、部活移行の関係なんですけど、部活そのものが今人数が足りなくなってきてるんで、維持できなくなってきてる現状があると思うんですけど、その辺についての何か課題的なものはこれには入ってないのかなと、ちょっと見ながら思ったんですけど。ちょっと人数を確保して対戦しようと思ったら、かなり但馬中を動かないと何か維持できないというか、対戦もできないとかっていうことで、結構、この地域だけの問題じゃなくて、但馬の中で考えるべき大きな課題なのかなとも思ったりするんですけど、その辺については、何かここら辺にちょっと一筆加えることはないんでしょうか。

○樹岡こども教育課参事　資料の２ページを御覧いただけますでしょうか。一番上に、現在進んでいる第３期の新温泉町教育振興基本計画は、令和４年度から令和８年度の計画ということで、この策定の時期が令和３年度になります。令和３年度というのはどういう時期かといいますと、国のほうでやっと部活動の地域改革の話が出始めたかなっていうときでありますし、うちの部活動のあり方検討委員会というのは令和５年度に実施をされて、そこから進んでるっていうことなので、ここに関しては直接明記はされないんですけども、おっしゃいますように、部活動の改革というのはもう喫緊の課題になります。この評価に関しては、この評価で御理解をいただきたいです。
○村尾委員　次の計画なり課題として残っているっていうことですね。
○中尾生涯教育課長　８ページ目を御覧ください。８ページ目に、一番最後の地域と連携した体制の充実ということで、スポーツ推進の関係組織の見直しや部活動地域展開に向けた体制づくりについて、スムーズな地域展開に向けて準備を進めていくというようなことで、一応、スポーツの部分、これを入れさせていただいておりますので、こども教育課と連携しながらということで、入れさせていただいております。
○村尾委員　分かりました。計画と、それから、あと、それに対する対策があると、また、お金の問題とかいろんな問題がいっぱい出てくると思うので、その辺のことを加味しながら次の計画を考えて、評価としてあるのかなと思いました。
○森田教育長　今後の第４期にはそういうことも出るわけですか。
○樹岡こども教育課参事　そうですね、出てきます。やっぱりこの部活動の改革というのはかなり大きな問題ですので、今でもホームページでアップしてるものもあるんですけども、できる限りの情報発信はさせていただきたいと思います。
○森田教育長　そのほかありますか。
○田中教育長職務代理者　これ、今年度末に１００パーセントっていうことですね、目指していくっていうことですね。例えば、ぱっと見たときに、教職員の業務改善、何かいつも同じことを何か考えなければならない、改善しなければならないということを聞くんですけれども、何かそれでどのように、具体的にどのように改善できてるのかなとか、各学校でされてると思うんですけれども、そこら辺はどうですか。
○樹岡こども教育課参事　ちょっと簡単に私のほうで説明させていただいた後、今年度、主では副課長に関わってもらっているので、もし仮に追加があればちょっと説明をさせてもらいます。

おっしゃいますように、業務時間を軽減させるというのは、もうここ何年も同じようなことを言っています。具体的な手だてとしては、一番業務時間を増やしてる要因と言われてたのが部活動です。小学校と中学校でやはり超過勤務の時間は数値的にも違いました。そこで、新温泉町の場合は、新温泉町版部活動指導員っていう、先生をサポートする職員を配置をしています。具体的には、相撲部であったり、ソフトテニス部、バレー部、吹奏楽部なんですけども、そういうところもあって、それだけではもちろんないんですが、中学校の超過勤務の時間っていうのは、少しずつ減ってはきています。

○中家こども教育課副課長　実際の実績なんですけども、令和６年度と７年度を比較すると、４、５時間程度ですけど、小学校も中学校も減ってるという実績は出てます。これが、どういう業務の影響で減ってるかの分析がまだこれからなんですけども、一応、実績としたら時間外勤務というものは、令和６年度に比べて７年度は減ってるということにはなっています。

○田中教育長職務代理者　最初に村尾委員が、先生たちが忙しい、そしたら夏休みの話が出て、夏休みに研修がいっぱいある。先生たちの業務改善というとこら辺と、今聞いたようなことと、このパーセンテージと、ちょっと何かどうなんかなということを思いました。

○森田教育長　そのほかいかがですか。引き続き生涯教育課の報告をお願いします。

○中尾生涯教育課長　（議事日程資料３～９ページを説明）

○森田教育長　報告が終わりました。何かご質問等ございましたらお願いいたします。

○岡田委員　結構、今、古民家が流行ってて、インバウンドの人がすごくそういうのを大好きで来られてるんですけど、道盛邸に関しても英語表記だとか、インバウンドの人を意識したような使いやすさとか、そういうのをしてもらったりっていうのはされてるんでしょうか。

○中尾生涯教育課長　今は基本計画のほうを協議しておりまして、あしたも第７回の会議があるんですが、今は取りあえず、どのような施設として活用していくかというところですので、今回、そういった看板表記ですとかについては今後協議していくことになると思いますが、岡田委員がおっしゃられるように、隣の東藤田邸なんかも、毎年多く来られるということでお聞きしておりますので、そういった配慮は考える必要かなというふうには考えております。

○森田教育長　そのほかありますでしょうか。

日程第５　議案第３２号　新温泉町いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について、事務局より説明いたします。

○朝野こども教育課長　（議事日程資料１０～１１ページを説明）

○森田教育長　では、この件に関しまして質問、御意見はありませんか。

それでは、承認いただけますでしょうか。（「はい」の返事有り）

異議なしということで、承認とさせていただきます。

それでは、日程第６、その他ということで、事務局からお願いします。

○中家こども教育課副課長　次回新温泉町教育委員会日程についてです。９月は、日時が９月２９日火曜日、１０時１５分でお願いします。以上です。

○森田教育長　そのほかになければ、本日の会議を閉じさせていただきます。ありがとうございました。

******** 閉会　午後４時１９分 ********